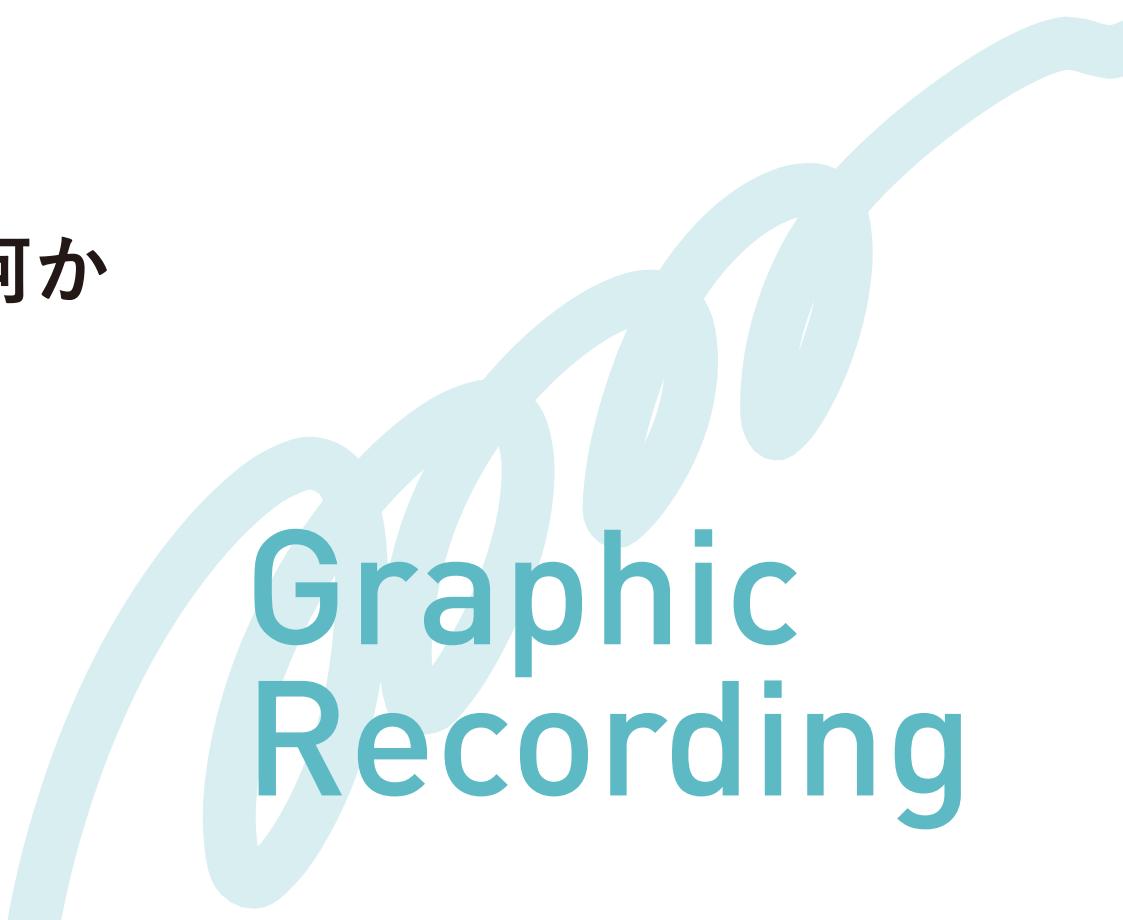


Vol.8

国や行政がやるべきことは何か



Graphic Recording

本データは懇談会における議論の可視化を目的として、富田 誠（東海大学専任講師）の指導のもと、早稲田大学大学院ジャーナリズムコースの学生と東海大学デザイン学課程の学生が制作しました。

制作

富田 誠（東海大学教養学部専任講師）

小澤拓哉、小坂晶、小山拓也、永井 結子（東海大学 芸術学科 デザイン学課程）
加川直央、角野雅美（早稲田大学大学院 ジャーナリズムコース）

技術協力

株式会社 MetaMoJi （使用ソフト Share Anytime）

話題提供企

(株)大和総研
鈴木準さん

超高齢化日本が持続可能であるためには?

- 世代間不公平問題あり
弱者とは誰かを見誤ってはいけない
働く世代にも対策が必要
年金・医療・介護による政府の赤字拡大で破綻の可能性

国民の負担^増、政府の給付削減 ➡ 経済成長を促す

- 改革プラン(破綻を避ける)
年金医療の給付抑制
消費税を最終的に25%にアップ
生産性向上による経済成長

超改革プラン(日本が黒字化)

- 年金を $\frac{2}{3}$ に抑制
医療費を全員3割負担に
保険医療分野の民間サービスサポート

現役世代の労働

社会保障制度が現役世代の働き方に影響

男性にも育児・介護を



財政的幼児虐待

このままでは維持できない
社会保障制度

選挙

- 子供を代表して親が投票権を持つのは?
- 年金と投票権を選択制にしては?
- 未成年が選挙できないのと同様に
65歳以上の選挙権をナシにしてみては?
- 世代別の選挙区にしてみては?
- 年齢だけでなく自己決定能力によって
投票権を与えるべきでは?

社会モデル

北欧型

全員参加が前提

新自由主義

能動市民

理由: 小さな人口

スウェーデンは900万人

民主主義

受動市民

理由: 大きな人口だから?

日本は1億人以上

世代間正義問題

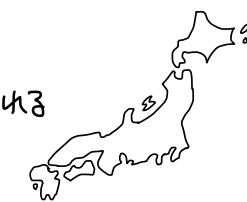
現役世代と将来世代の対立

民主主義では将来世代のための社会を構築するのが難しい

国の将来を自分ごと化するためには

北欧では愛国心が強いため、負担を自分ごととして受け入れられる

自分ごとにするには自分の国を良いと思う必要性あり



高齢というだけで
優遇しても良いのか?

高齢者の多様性

高齢者の貯蓄率の差

アクティブシニア

高齢者=支えられる側でいいのか



話題提供②

武藤 真祐さん
医療法人社団株式会社 ブルームクリニック 理事長
一般社団法人高齢者進国モデル構想会議

現状

都市における急激な高齢化
単身世帯・独居老人増加

シニアとは



在宅医療に対するニーズ

国民全体の6割が家で亡くなりたいと希望
在宅医療は入院に比べコスト $\frac{1}{3}$

しかし

病状の急変への対応 家族の負担への配慮
国民全体の8割が医療機関で死亡



新しい在宅医療のあり方とは?



在宅医療 × 連携 × 介護

ICT活用 官民連携

互助のコミュニティ
お金や仕事よりも人の繋がりが生きる希望に

包括的な支援体制の構築

アリ(働き者)

80歳を超えると
一人当たりの
医療費は100万円/年

終末期医療の継続は誰が決める?

本人の意志

家族の意志

尊厳死を否定する人達

倫理観などで判断しがちであるか
コストは考えているか



- 国民は医療費がタダみたいなものと考えていないか
- 始めると途中でやめることはできない
- 社会が必要とするコストを可視化しては?
- 誰が医療費を負担をしているのか明示しては?
- 医療における予算制約の範囲をつくるべきでは?
- 個人が医療コストのシミュレーションをしてみては?

アメリカ

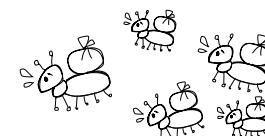
医師が医療に対する
費用対効果を認識

国民皆保険がないので
個人のコスト意識が高い

アリとキリギリスで考えてみよう

アリ(働き者)

現在
10匹のアリで1匹のキリギリス
未来
1匹のアリで7匹のキリギリス



キリギリス (働きない人・働きかけない人)

キリギリスを内包できる社会も必要
キリギリスでも生きていける社会
キリギリスを支える安い牛丼
キリギリス同士の助け合い
横のつながりで公助が不要に?



オランダの場合

ソフトドラッグ解禁も

スウェーデンの場合

尊厳死を尊重している

自己決定する文化

日本は?

労働の喜びを知ればキリギリスからアリに変われる?

終末期医療は 誰のために生きるのか という問題でも